学校評価　教職員アンケート考察

令和３年１月１３日
安謝小学校

◎肯定回答の高い（平均評定３．９以上）項目（かっこ内は昨年との差）

・問２２「特別支援教育について全職員の共通理解のもと実施されている」
・・・・・・・・・・・・・・　３．９（±０）

◎気になる項目（約８５％以下）

・問１５「見学力向上Ｗｅｂシステムの積極的な活用を行っている」
・・・・・・・・・・・　５０％（－３０％）

・問４３「地域行事やＰＴＡ活動に積極的に参加し、連携を深めるよう努めている」
・・・・・・・　７８．１％（－２１．９％）

・問４８「総合的な学習の時間では、児童が主体的に問いを見いだし、情報を調べたり、表現したりすることができている。」・・・・・・・・・・・８４．６％（新設）

【改善策】

問４８は新設

問１５：学力向上 Web システムは、点数の入力など、特定の時期には操作をする機会があるが、諸テストの平均や落ち込み部分など、評価結果を授業改善につなげる有効なツールとなりうる。活用事例を全職員で確認したり、定期的に短い時間で活用研修を行うなどし、もっと活用ができるように意識を高め、次年度計画を立てていく必要がある。

問４３：地域行事やＰＴＡ活動については、新型コロナウイルスの蔓延でどうしても中止や規模縮小が多かったため肯定回答は低い結果となったが、昨年度は高い数値であり、次年度も地域・保護者と積極的に情報交換をし、子供たちのために職員も一緒になって行事などを行うことにより、学習・生活両面で子供たちによい影響があると思われる。

問４８：児童が主体的に問いを見出すよう仕向けることは、総合学習に限らずすべての教科における目標である。総合のテーマをまず教師が学年全体で掘り下げて、子供たちの興味・関心・意欲を高めることで、積極的に学習に取り組む態度が育まれる。発問や、題材についての教材・教具を工夫することも大切。感染症には気を付けながら、コンピューター室や電子黒板を活用、また発表の場面を多く作ってあげることが大切である。